

令和8年6月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和8年5月25日（月）午前11時00分～11時30分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ 11社 14名

会見内容

1. 話題提供

1 くしろ市民応援クーポン（電子クーポン）について

- はじめに、「くしろ市民応援クーポン（電子クーポン）について」です。
- 「物価高騰対策消費者支援事業」いわゆる電子クーポンにつきまして、日程など事業の詳細などが決定しましたことから、ご説明いたします。
- 当市の市民の皆様に向けた物価高騰対策につきましては、まずは、支援の効果が幅広く、迅速に支援が行き届く「水道基本料金の免除」等を令和7年度に実施し、令和8年度においては、市内の登録店舗で使用できる一人一万円分の電子クーポンを世帯ごとに配付することにより、支援の効果を継続させるとともに、消費を通じた市内事業者への支援につなげ、地域経済の活性化を図る考えで進めてまいります。
- 電子クーポンにつきまして、名称は「くしろ市民応援クーポン」といたしました。申請等の手続は不要となっており、各世帯へは6月14日までに圧着ハガキにてお届けすることとし、利用開始は6月16日といたします。圧着ハガキには、利用方法などのご連絡とあわせて、QRコードが印刷されており、この部分がクーポンとなります。
- 利用については、そのまま登録店舗に提示するだけとなります。店舗側が読み込むことで決済が完了するものであり、スマートフォンなどをお持ちでなくても利用が可能です。加えて、このQRコードをスマートフォンに読み込みチャージすることができる専用アプリも用意いたします。アプリを利用することで、印刷物を持ち歩く必要がなく、残高を確認することができるのと同時に、クーポンが利用可能な加盟店検索も行えるものとなります。
- これらのスケジュールや郵送するハガキの記載内容、クーポンの利用方法や加盟店の一部につきましては、5月末に全戸配布される広報くしろ6月号に詳細を掲載しております。また、加盟店にはこちらのポスターが掲示されますので、目印にしていきたいと考えております。
- 加盟店の登録は、短い期間にも関わらず、多くのスーパーや飲食店などに参加いただき、うち半数以上がハガキの読み取りにご対応いただいております。登録については7月末まで引き続き受け付けております。より多くの店舗にご参加いただきたく、利用方法などの市民へのお知らせに加えて、加盟店の募集についても、報道いただくようお願いいたします。

2 釧路市政策アドバイザーの就任について

- つづきまして、「釧路市政策アドバイザーの任命について」です。
- 本日、5月25日付けで東京農業大学名誉教授、また、NPO 法人発酵文化推進機構理事長でいらっしゃいます、小泉 武夫（こいずみ たけお）氏を、釧路市政策アドバイザーとして任命いたしました。
- 小泉氏は、発酵学・醸造学・食文化論を専門としており、日本における発酵研究の第一人者で、長年にわたり東京農業大学において発酵に関する研究と教育に深く携わるとともに、名誉教授となられた後は全国の大学で教鞭をとり、自身の研究と教育のさらなる普及に当たっています。
- また、日本食文化に関するユネスコ無形文化遺産の登録では、「和食」の際は検討会の委員として、「伝統的酒造り」では検討会の委員の長として尽力され、また、150冊を超える著作や長年続く新聞連載など、発酵文化をはじめとする日本の食文化に関する情報発信を継続的に行うなど、学術、教育、文化など様々な領域で活躍されています。
- 小泉氏と釧路市の関わりといたしましては、過去に当市で開催された鯨食文化をテーマにしたシンポジウムにご登壇いただき、鯨の食文化についてお話しいただいたほか、新聞連載などで釧路市の食文化を取り上げていただくなど、釧路市の食にも造詣が深い方でいらっしゃいます。
- また、全国各地で食品の商品開発、開発プロジェクトなどに関わるなど、自身の研究や日本全国の食に関する深い知見をもとに、独自の視点で、地域の農水産品の高付加価値化と6次産業化を支援されております。
- 現在、釧路市では、持続可能な農水産業の実現に向けて、農水産品の高付加価値化と6次産業化の推進に取り組んでおり、研究や知見をもとにご助言いただきたく、政策アドバイザーをお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただけることとなったものであります。
- 今後は、農水産品の高付加価値化と6次産業化をはじめ、釧路市の食文化の発信など、様々な機会でご助言をいただけるものと考えております。

3 季節便の運航について

- つづきまして、季節運航便の就航についてです。
- 国内LCC路線として人気の高い、Peachの大阪（関西）－釧路線・女満別線が、7月1日（水曜日）から9月30日（水曜日）まで季節運航いたします。釧路空港へは、「火・木・金・日」の週4日、女満別空港へは「月・水・土」の週3日、1日1往復で運航します。今年のパライトの発着時刻は、関西空港が9：00発、釧路空港への到着が11：05となっております。例年よりも到着時間が早く、初日から観光が楽しめるものとなっております。利用者層の拡大が見込まれます。
- また、釧路と名古屋を結ぶ、日本航空（JAL）の名古屋（中部）－釧路線・帯広線が、8月1日（土曜日）から8月31日（月曜日）まで、季節運航いたします。そのうち、釧路空港へは「火・木・土」の週3日、帯広空港へは「月・水・金・日」の週4日、1日1往復で運航します。
- さらに、全日空（ANA）の大阪（伊丹）－釧路線が8月7日（金曜日）から8月11日（火曜日）までの5日間限定で毎日（1日1往復）運航いたします。
- 各社の季節便は、「ひがし北海道」の各観光地を周遊いただけるフライトスケジュールとなっております。関西、中部からお越しいただく皆様には、食を含めて地域の魅力を満喫いただきたいと考えております。

また、あわせて中部・関西方面への旅行等をご検討の皆様におかれましては、ぜひこの機会をご活用いただければと思います。
- なお、季節便それぞれにおいて、初便到着に合わせて、釧路空港にて初便歓迎行事として、搭乗されたお客様に、空港1階ロビーにて観光パンフレットや記念品を配布予定です。

2. 質疑要旨

(質問)

- ・ くしろ市民応援クーポンについて、6月16日から使用開始ということで、店舗数ほどの程度応募があったのか教えていただきたい。

(商業労政課)

- ・ 現在のところ約400店舗から申し込みをいただいております。

(質問)

- ・ 政策アドバイザーを任命したのは何人目になるのでしょうか。

(企画課)

- ・ 今回で7人目になります。

(質問)

- ・ 今回小泉氏を政策アドバイザーに選んだ理由を改めて確認させていただきたい。発酵文化、日本酒の発酵が専門の方と思いますが、鯨食文化の講演や釧路の食文化の発信で貢献されたということですが、鯨の時期は限られたもので食文化の発信となると他の発信の仕方もあると思います。小泉氏を選ばれた市長の狙い、思いをお聞かせください。

(市長)

- ・ 小泉先生につきましては、お酒の発酵だけではなく、食品・薬品等全ての発酵を科学的に分析され、研究者としても学識が高く、全道を廻りその土地の発酵文化を学ばれ、他には類を見ない方とっております。今年予定している鯨フォーラムにも候補としてあがってくると思います。農水産物、我々が誇る一次産品の付加価値を上げ、高価格で市場に出していきたい。それがふるさと納税等にも繋がることがあると思います。市民への発酵文化の普及等さまざまな部分でアドバイスをいただけてと考えております。

(質問)

- ・ 小泉先生にどのような食材の高付加価値化に取り組んでいただきたいのか、市としての狙いをお聞かせください。

(市長)

- ・ 海産物、野菜、牛肉の分野でも発酵がキーになっていると小泉先生がおっしゃっておいりました。これらができれば、市にとってプラスになると考えております。

(質問)

- ・ JRの黄色線区存続策について、協議が止まっている現状についての受け止めをお聞かせください。

(市長)

- ・ 協議は止まっておりませんが、状況を説明させていただきます。鉄道高架事業は、市街地南北の分断の解消、老朽化する社会インフラの更新、ウォークアブルなまちづくり、にぎわい創出、都市の防災機能の向上など、釧路市のまちづくりを進める上で重要な事業であります。一方、釧網線および花咲線の存続に関する議論は、沿線地域の交通確保や広域的な鉄道ネットワークのあり方に関する課題であり、国や北海道、沿線自治体とも連携しながら、鉄道の存続を前提に、地域にとって最も現実的で、持続可能なあり方を議論すべきものと考えております。

また、今年度予算計上しております、都心部まちづくり計画の見直しや高架下道路の概略設計については、北海道およびJR北海道など、関係機関と十分協議を行いながら、予定通り進めてまいります。

(質問)

- ・ 今後の協議によっては、釧路駅高架化に負担が増えると考えられると思いますが、都心部まちづくり計画の見直しと高架下道路の概略設計を予定通りおこなうことに影響はないのでしょうか。

(市長)

- ・ 一緒くたに考えることはできないと思っております。釧路市のまちづくりの観点から、しっかりと都心部まちづくりの事業を進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ スケジュール的に影響はないのでしょうか。

(市長)

- ・ 予定通り進めていきたいと考えております。

(質問)

- ・ JRが示している上下分離方式を含む沿線自治体に対して、一定程度の負担を求めるとするような釧網線や花咲線についての対応について、地域との直接の協議が難しい状況にあるとの考えも示されています。この存続策に対する受け止めや、各自治体の考えや利害調整もある非常に難しい問題ですが、釧路管内を束ねる首長として、この問題にどのように対応するお考えでしょうか。

(市長)

- ・ 5月20日のJR北海道の定例記者会見後、JR北海道側から連絡があり、黄線区を維持する仕組みの構築については、進め方も含め、JR北海道が国や北海道と相談・調整していくこと、また、沿線自治体とは、これまで同様、利用促進やコスト削減の取組について議論していく旨の報告を受けたところであります。こうした状況を踏まえ、黄線区の問題につきましても、沿線自治体と情報共有を図りながら、JR北海道と国や北海道との協議の状況を注視してまいりたいと考えております。

(質問)

- ・ 5月20日の会見後に受けた報告は、市長が直接連絡を受けたのでしょうか。

(市長)

- ・ 担当が直接、説明を受けております。

(質問)

- ・ 4月に上下分離方式を含む案が出てから、市長が直接JRから説明を受けたことはあるのでしょうか。

(市長)

- ・ 4月15日の社長記者会見前にオンラインで話をしたことはあります。その時はJR北海道が黄色線区の維持に向けた考え方を示してくれました。輸送体制の見直し、運行に必要な担い手の確保、固定資産税の減免、上下分離方式の4項目であり、4つ中の一つに上下分離方式が含まれていたとの感覚です。

(質問)

- ・ 沿線自治体ではなく、国や道に対してＪＲが話をしていくことに注視するとのことですが、国や道に沿線自治体としての思いを事前に要望し、ＪＲに伝えてもらうこともあると思いますが、そのような予定はないのでしょうか。

(市長)

- ・ 非公式ではありますが、他首長のお話を聞く機会もあります。国や道にお願いをしていくべきとの意見が多くあります。国や道にお願いをすることも必要と思いますが、現時点では形が見えていません。ＪＲが先に相談や協議をしていただけると言っていたので、それを待つのも一つと考えております。

(質問)

- ・ 自然環境と調和しない太陽光発電所の建設を望まないとする「ノーモア メガソーラー」宣言を出されて、6月1日で1年となります。宣言は事業者への強制力はなく、あくまでもお願いベースとのこともあり、その効果を疑問視する見方もあったと思います。条例施行もあり、建設に歯止めがかかったと思いますが、改めて、宣言の意義や効果について、市長の見解をお聞かせください。

(市長)

- ・ 「ノーモア メガソーラー」宣言は、自然環境や住民生活と調和しない大規模太陽光発電施設を望まないという、釧路市の明確な意思を示したものです。法的拘束力はないものの、ご質問のような、「効果を疑問視するような声」は寄せられておらず、条例施行とあわせて事業者には慎重な対応を促し、一定の効果があつたと認識しています。メガソーラーに対する市の考えを世の中に広く発信できたことにより、多くの市民から応援の声をいただきましたし、これにより市民や事業者が「自然環境への配慮をより意識するきっかけとなったこと」は、大きな意義であったと思われまます。

また、この1年の間に、さまざまなことが起き、市では条例を制定し、国においては「対策パッケージ」を策定するなど、関係機関が一丸となり、太陽光発電事業が適切なものとなるよう、取り組んでまいりました。今後も、釧路の貴重な自然環境を守りながら、地域と調和した持続可能なまちづくりを進め、脱炭素社会の実現にも貢献してまいりたいと考えています。

(質問)

- ・ 大阪の事業者と年末にかけて、やり取りをしていたと思います。最近、先方とのやりとりはあるのでしょうか。

(環境保全課)

- ・ 事業者側、市側からの大きな動きはありません。

(質問)

- ・ 市の4月末の人口は15万274人と15万人台を維持しておりますが、年内には15万人を割り込むのは確実と思われます。市は2015年に「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、若者や女性の定着、コンパクトなまちづくり、観光客など関係人口の増加に取り組んでおります。北海道総合研究調査会の将来推計人口では2025年に14万6657人となっており、同調査会の推計よりも減少スピードは緩やかとなり、こうした取り組みの成果が一定程度出ていることがうかがわれますが、こうした状況について、市長の認識や見解をお聞かせください。

(市長)

- ・ 人口減少のうち、自然減は止められませんが、社会減については、少しずつ改善の兆しが見え始めております。こうした流れを確かなものとし、持続可能なまちづくりを進めるため、引き続き、若者や女性の学ぶ場や働く場づくり、グローバル人材の育成、外貨獲得に向けた仕組みづくりなどに取り組んでまいりたいと考えております。

参考となりますが、「釧路市立地適正化計画」では、進捗管理と評価、検証を行うため、居住・都市機能・公共交通に関する指標の目標値を設定しておりますので、現状についてご説明します。

一つ目、居住に関する指標として「居住誘導区域内の人口密度」を設定し、当初策定時、2015(平成27)年の「48.8人/ha」に対し、目標値は、10年後の2025(令和7)年が「42.5人/ha以上」、20年後の2035(令和17)年が「40.0人/ha以上」と設定しています。令和7年度末時点では、「42.7人/ha」となっており、目標値を上回っています。

二つ目、都市機能に関する指標として『『各種食料品を取り扱う小売店舗』と『診療科として内科を有する医療施設』の両方が立地している都市機能誘導区域の数』を設定し、当初策定時、2015(平成27)年の「都市機能誘導区域8区域のうち6区域」に対し、目標値は、10年後の2025(令和7)年が「現況値以上」、20年後の2035(令和17)年が「全8区域」と設定しています。こちらも令和7年度末時点で、「8区域のうち6区域」で現状維持となっております。

三つ目、公共交通に関する指標として「市民一人当たりのバス利用割合」を設定し、当初策定時、2016(平成28)年の「7.3%」に対し、目標値は、10年後の2026(令和8)年が「8.0%」と設定しています。こちらの現状の把握している数値は、2021(令和3)年時点の数値になりますが、「6.8%」となっており、目標値を下回っているところです。

今後も、各指標の進捗管理を行いながら、本計画に基づく「コンパクトなまちづくり」を進めてまいりたいと考えております。

(質問)

- ・ 旧丸井今井釧路店が早ければ来年に建物を解体する意向を明らかにしました。閉店から20年来塩漬けされたままの施設が解体される方向となり、釧路市中心市街地の再開発が動き出す見通しとなりました。市長の受け止めと、市として今後、どのような支援をなされる方針でしょうか

(市長)

- ・ 相手方からのご意向ということで、解体されることとなれば空きビルの課題解決にも繋がるため、期待しているところであります。相手方からのご相談等があれば、国の補助金活用などの情報提供等の対応を検討したいと考えております。

(質問)

- ・ 中心市街地には、丸井今井の他にも空きビル、特定空き家に分類される大きな空きビルがありますが、中心市街地の空き家対策について市長のお考えをお聞かせください。

(市長)

- ・ 昔、建設されたビルが廃墟のような形になり、街の中心部に多く存在するということは、街にとってマイナスのイメージを与えていると思います。事業者の協力が無ければ進んでいきませんが、国も空き家、空きビルの解体について法律をつくり進めておりますので、そのような支援を活用しながら、中心市街地の空きビルの解体に協力していきたいと考えております。解体が進むと、中心市街地並びに釧路市の地価もあがる可能性があるものと考えております。

(質問)

- ・ 太陽光条例の一部改正案、パブコメが終わった頃だと思います。6月議会に提案されると思いますが、改めて一部改正案の意義や今後、議会にどう臨んでいきたいかお聞かせください。

(市長)

- ・ 今ある太陽光条例に質権設定を追加するかたちで、進めさせていただいております。今ある条例だけでも、かなり抑止力になっているとは思っていますが、質権設定制度の導入により、太陽光発電施設が機能しなくなったときに、所有者が判らず置き去りにされてしまうリスクが回避されていくものと考えております。

(質問)

- ・ 6月議会に提案されると思いますが、議会の理解を得られると思いますか。どのように議会に臨んでいくのか、意気込みをお聞かせください。

(環境保全課)

- ・ 民生福祉常任委員会の皆さんに、2月議会の後にも説明をさせていただきました。その中で、どのような考えで質権設定制度を導入するのかということや、制度の詳細、手続き方法などについても説明させていただきましたので、6月定例会で議決をいただけるようにと考えております。

(質問)

- ・ メガソーラーをめぐり、大阪の会社が計画を進めている昭和地区の事業地近くでキタサンショウウオの卵囊が見つかったとの話がでていますが、市長として建設計画や現況についての受け止めなどあればお聞かせください。

(市長)

- ・ キタサンショウウオの卵囊が見つかったということは新聞で拝見しました。自然環境や住環境をしっかりと守っていきたくて考えておりますので、今後も状況を踏まえながら事業者との話し合いを進めていきたいと思っております。